

《参加者の意見・感想》

第1講座 「ものの見方、考え方」

とても難しく感じましたが、哲学について初めてしっかり聞く経験だったのでとても興味深かったです。弁証法についてこうだ！という決定的な考え方はなく、様々なことが複合されているのだと思った。一つの物事について断定的な見方ではなく広い視野で捉えることの大切さ、また、現存するものを否定的に捉える、すべての存在するものには否定的な側面がある、そこを指摘することで新しいものへと変化する。自分なりにこれからの学びも続けて保育に活かしていけるようにもっと考えを深めていきたい。

あまりに難しく、頑張って理解しようとしたものの…正直できませんでした。最後の質問の返答で少しだけ弁証法というものが理解できたかも！です。子どもを見る視点として子どもは日々成長するもの、変わっていくもの、その変化をどう見ていくのか、ものの見方・視点の大事さ。ただ子どもを見ていてはその成長変化はわからないが、成長変化するものとしてとらえると見えてくる。否定の否定…保育に置き換えると少しわかったような気がします。

後半、「成長は否定の否定」「現在の自分を否定し、作り変えていく」というあたりから、少しずつけるようになりました。質問の後の話は、今の保育とつながるところがあり、子どもひとりひとりの捉え方の基本にもなるものだと感じました。

※順次追加していきます。つづく。・・・